



てごてこふれあいニュース7月号



子どもの事故を防ぐために家族で確認！チェックリスト

7月13日～19日は「子どもの事故防止週間」です。

子どもの事故は家庭や身近な場所で多く発生しており、誤飲ややけど、転落、溺水など、ちょっとした油断が事故につながる場合があります。夏は、暑さのため室内で涼しく過ごす人もいれば、川や海へ遊びに行く人もいます。子どもの事故の多くは、日頃の見守りや環境づくりによって防ぐことができます。この機会に、ご家庭の安全対策をチェックしてみましょう。

【家の中の事故チェックリスト】

- ☐ 薬や洗剤、化粧品を子どもの手の届かない場所に保管している
- ☐ ボタン電池や硬貨など、誤飲の危険があるものを床に放置していない
- ☐ 熱い飲み物や調理中の鍋を子どもの近くに置いていない
- ☐ 窓やベランダの近くに踏み台になるものを置いていない
- ☐ ベランダへ子どもだけで出られないようにしている
- ☐ 浴槽に水をためたままにしていない

3歳頃の口の大きさは直径約4cm(トイレットペーパーの芯と同程度)です。これより小さいものは誤飲・窒息の危険があるため、子どもの手の届かないところに保管しましょう。

【水遊びの事故チェックリスト】

- ☐ 水遊びをするときは必ず大人が見守り、目を離していない
- ☐ 海や川へ出かける前に、天気予報や気象情報を確認している
- ☐ ライフジャケットを正しく着用している
- ☐ 遊泳禁止区域や危険な場所へは近づかないようにしている
- ☐ 水分補給や休憩をこまめにとり、体調管理に気を付けている



事故が起きて困ったときは **#8000** へ

休日や夜間に、お子さんの急な病気やけがで「すぐに受診した方がいいのかな？」と迷ったときは、小児科医師や看護師に相談できる「子ども医療電話相談（#8000）」をご利用ください。家庭での対処方法や受診の必要性についてアドバイスを受けることができます。

電話がつながったら、慌てずゆっくり、子どもの年齢・性別・症状・住んでいる地域などを伝えましょう。

呼吸や心臓が止まっている、事故で大ケガをしている場合は直ちに **119番** 通報しましょう。

こども誰でも通園制度

今年度から「こども誰でも通園制度」が開始されました。

こどもたちの良質な成育環境を確保するとともに、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形で支援を強化するために創設された制度です。

利用する際には、「こども誰でも通園制度総合支援システムポータルサイト」からオンライン申請してください。

○対象者：生後6か月～3歳未満（3歳になる誕生日の前々日）

保育所等に通っていないこと

○利用時間：月10時間/こども1人あたり

○利用料金：1時間あたり300円

○町内の実施施設

施設名	電話番号	開所日時
本地保育所	0826-72-2494	毎週月・水曜日 9:00～12:00
南方保育所	0826-72-4678	毎週火・木曜日 9:00～12:00

こども誰でも通園制度に関することは、こども家庭課 こども未来係 72-7350 にお気軽にご相談ください。

町外の施設でも利用可能です！！

食育コーナー 夏本番！熱中症に気をつけよう

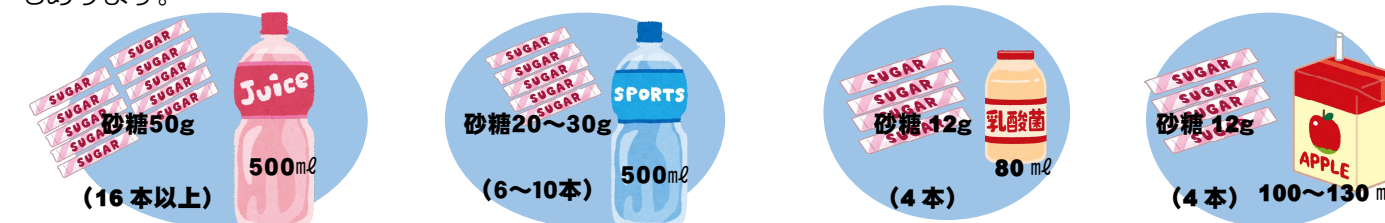
暑さが本格化し、熱中症に気を付けたい季節です。乳幼児は体の水分が多く、汗をかきやすいため、大人よりも脱水や熱中症になりやすいと言われています。また、のどの渇きを上手に伝えられないこともあります。元気に夏を過ごすためにこまめな水分補給をし、熱中症を予防しましょう。

- ・ のどが渇く前にこまめに飲む
- ・ 水や麦茶を基本にする
- ・ 遊びに夢中になると水分補給を忘れがちになるため、30分～1時間ごとに声をかける



<ジュースの落とし穴>

ジュースには砂糖が多く含まれているものがあり、飲み過ぎると食欲が落ちて食事がすすまなくなる、虫歯や肥満の原因になるといったことが起きてきます。また、甘いものに慣れると水やお茶を飲みたがらなくなることもあります。



大人も子どもも、飲み物のとり方に気をつけましょう。